

自然災害に備えよう

水位などの情報を確認することがとても大切です。

■ 備え

すぐに持ち出せるよう、必要最低限のものをリュックにまとめておきましょう。

(例) 懐中電灯・非常食・飲料水・衛生用品(携帯トイレ、おむつ、ウエットティッシュ)・感染対策品(マスク、消毒液、体温計、ウエットティッシュ、ビニール袋、スリッパなど)

■ 避難

避難の目安となる5段階の「警戒レベル」情報が気象庁から発表されます。

■ 確認

これからの季節は、前線の影響による大雨や台風の接近・上陸などによって、全国各地で毎年のように風水害が発生しています。特に、集中豪雨や巨大化した台風により洪水、土砂災害などが発生し、大きな被害をもたらしています。毎年予想を超える災害が頻発している中、一人一人の防災意識がとても大切になってきますので、非常時の備えを再確認しましょう。

ハザードマップや土砂災害の危険区域を確認しましょう！

自宅や職場、学校などが浸水区域や土砂災害の危険区域に該当するか。また、避難所はどこなのか。事前に確認することによりスムーズな避難に繋がります。

普段から、気象情報や川の

【警戒レベル】

警戒レベル	住民のとりべき行動 ※町からの避難情報	警戒レベル相当情報
警戒レベル5 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保 ※緊急安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警報(浸水害) 大雨特別警報(土砂災害)
警戒レベル4 災害の恐れが高い	危険な場所から 全員避難 ※避難指示	氾濫危険情報 洪水警報危険度分布 (非常に危険) 土砂災害警戒情報
警戒レベル3 災害の恐れあり	危険な場所から 高齢者等は避難 ※高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報危険度分布(警戒) 大雨警報(土砂災害)
警戒レベル2	自らの避難行動を 確認	氾濫注意情報 洪水警報危険度分布(注意)
警戒レベル1	災害への心構えを 高める	

※警戒レベル4避難指示までに必ず全員避難しましょう
※避難勧告は廃止され、避難指示に統一されました。

